

京都府では1日300人の献血ご協力が必要です。

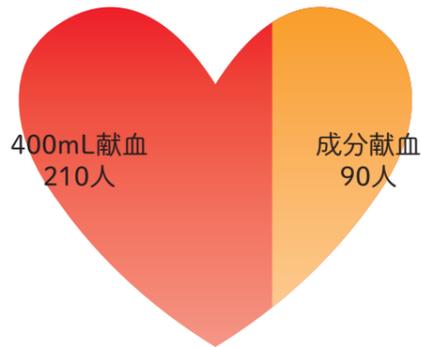


京都府内で1日に必要とされる献血者数は300人です。

この数は、平成31年3月に策定された今年度の京都府献血推進計画を基に1日当たりの必要数を算出しています。

輸血を必要とされている方を支えるためには、皆様のご協力が欠かせません。

1日300人の内訳



おたより紹介

●献血バスのスケジュールを知りたいです。(左京区 Hさん)

血液センターのHP・Twitter・Facebookで配信しているので、ぜひチェックしてほしいっ☆



今号の表紙

今号の表紙は「世界赤十字デー（5月8日）」に赤くライトアップされた京都府赤十字血液センター社屋です。

赤十字の創始者アンリー・デュナン誕生の日である5月8日の「世界赤十字デー」を中心に、全国各地の建物を赤十字のシンボルカラーである赤い光で彩る「レッドライトアップ」プロジェクトが実施され、京都府内では、京都府庁日本館、舞鶴赤十字病院、血液センターが参加しました。

編集後記

先日、大切な人を病気で亡くしました。治療中は看護、介護や高額療養費助成など知らなかったことばかり。そのありがたみや関係者の優しさが身に沁みました。また日常生活を支えてくれた数々の薬や献血者にも感謝の気持ちでいっぱいです。(京都センター N)

プレゼント企画



献血検定

次の空欄に当てはまる言葉を答えてください。

今年度、血漿成分献血は、昨年度より〇〇〇〇〇人多く必要です。

正解者の中から、抽選で10名様に記念品を差し上げます。

〈応募要項〉

- クイズの答え
- 献血ingをどこでみましたか?
- 献血ingへのご意見・ご要望
- 住所・氏名

〈宛先〉

〒612-8451
京都市伏見区
中島北ノ口町26番地
京都府赤十字血液センター
「献血ing」係

応募メ切/令和元年10月18日(金)消印有効前号の答え/2

記念品/けんけつちゃんシール



●当選者の発表は、記念品の発送をもってかえさせていただきます。
※プレゼント企画の応募等に関する個人情報は、記念品発送の目的以外に利用することはありません。

初めての400mL献血大歓迎!

男性 **17** 歳 女性 **18** 歳 から



献血ing けんけついんぐ

令和元年7月20日発行

94
2019.7.20



特集 ●成分献血と血漿について
●平成30年度献血状況報告

献血ルーム 四条	献血ルーム 京都駅前	献血ルーム 伏見大手筋
0120-640-388	0120-569-356	0120-731-350
<p>(駐車場の案内)</p> <p>①車専用 ②車・バイク・自転車 ③バイク・自転車専用</p> <p>富小路六角P ①フヤ町P ②パーク富小路 ③富小路通 ④藤屋町通</p> <p>四・条・通</p> <p>四・条・SETビル 5F</p> <p>柳馬場通</p>	<p>鳥丸七条P ② ③</p> <p>京阪京都ビル6F 七条通 酒井さんP ① ② ③</p> <p>免許更新センター ヨドバシカメラ 中信P 京都タワー</p> <p>JR・地下鉄・近鉄 京都駅 八条通 八条ロP (アパニティ)</p> <p>東洞院通 自転車・バイク専用</p>	<p>若由ビル1F 京都銀行 ① ②</p> <p>大手筋P (鏡戸物町P) ① ② ③</p> <p>NTT 大手筋商店街 イオン 日の又家具 新町P 近鉄桃山御膳前駅</p>
<p>献血受付 毎日 (年末年始を除く) 10:00~12:00 / 13:00~18:00 (成分献血は17:00まで) ※土日祝の成分献血は16:00まで</p>	<p>献血受付 毎日 (年末年始を除く) 10:00~12:00 / 13:00~18:00 (成分献血は17:00まで) ※土日祝の成分献血は16:00まで</p>	<p>献血受付 毎日 (年末年始を除く) 10:00~12:00 / 13:00~18:00 (成分献血は17:00まで) ※土日祝の成分献血は16:00まで</p>

献血の情報や日程は、こちらからご確認いただけます。

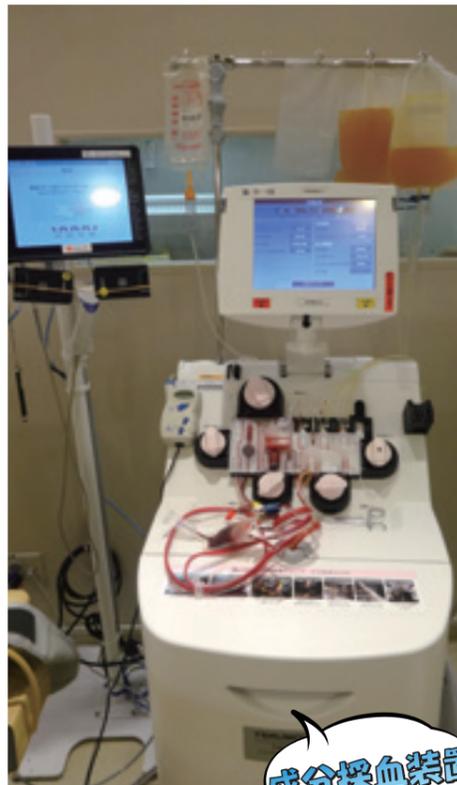
京都献血 で 検索 <https://www.bs.jrc.or.jp/kk/kyoto/>



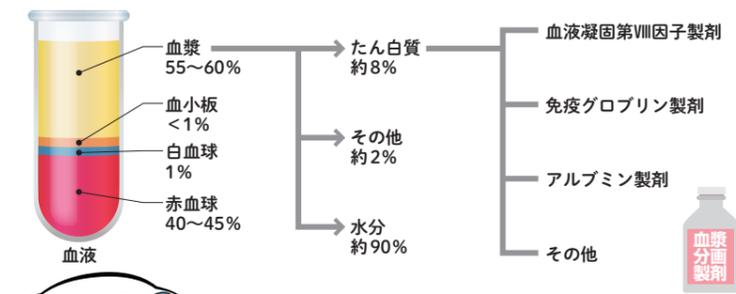
京都府赤十字血液センター公式アカウントのフォロー、いいね、リツイート 大歓迎です!

成分献血って？ 血漿って何？

血液をそのままいただく献血を全血献血、**血液中の血小板と血漿のみをいただく献血を成分献血**といいます。成分献血は回復に時間のかかる赤血球を体へお返しするので、**体への負担が少ない献血**です。なお、個人差がありますが、赤血球は約2～3週間、血小板は4～5日、血漿は2日で回復します。



血液の成分中の血漿を原料として、各種血漿分画製剤がつくられます。



成分献血の献血基準

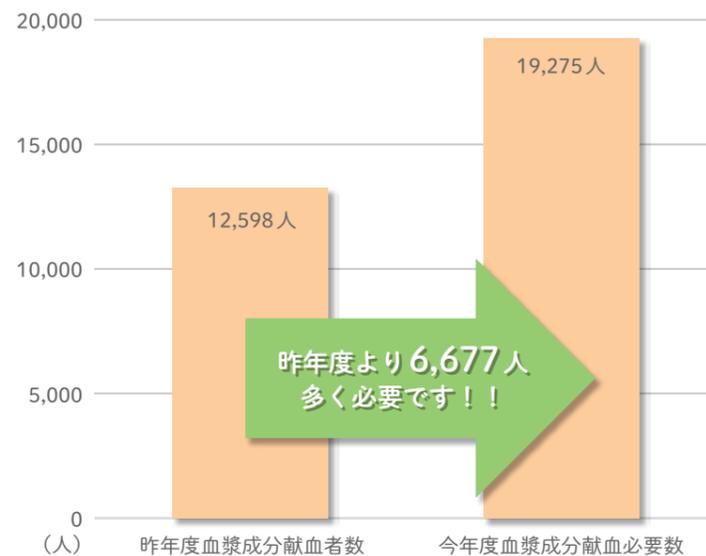
	血漿成分献血	血小板成分献血
年齢	18歳～69歳	男性：18歳～69歳 女性：18歳～54歳
体重	男性45kg以上、女性40kg以上	
1年間にできる回数	血小板成分献血1回を2回分に換算して血漿成分献血と合計で24回以内	
献血の間隔	男女とも2週間後の同じ曜日から	
所要時間	60～90分（採血時間は40～50分）	

※65歳から69歳までの方は、60歳から64歳までに献血の経験がある方に限られます。
※40歳以上で初めて成分献血にご協力いただく方、過去1年間に心電図検査を受けていない方には、心電図検査を受けていただきます。

成分採血装置



免疫グロブリン製剤の需要増加に伴い、**血漿成分献血の必要数が増加しています！**



近年、免疫グロブリン製剤を中心とした**血漿分画製剤**の需要増加にともない、血漿成分献血の需要も増加しています。

今年度京都府内では、昨年度と比べて**年間6,677人増の19,275人**の献血ご協力が必要で、1日あたりでは20人増の55人が必要です。



血漿分画製剤の種類

- 免疫グロブリン製剤（重症感染症、川崎病、重症筋無力症やギランバレー症候群などの神経疾患、免疫が低下した場合に使用）
- 血液凝固第Ⅷ因子製剤（血友病などに使用）
- アルブミン製剤（重症熱傷や出血性ショックなどの場合に使用）
- その他

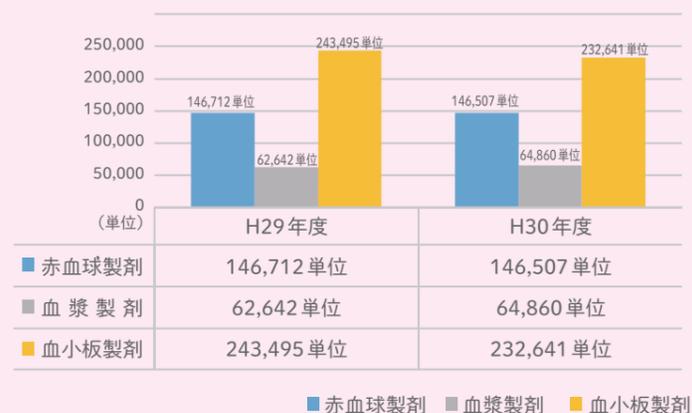
平成30年度、京都府では**103,553名**に献血のご協力をいただきました！皆様、ありがとうございました！

●献血種類別献血者数



献血者数は昨年度と比較すると、全体で614人増加しました。内訳は、400mL献血が2,174人の減少、200mL献血は153人の増加、成分献血（血漿・血小板）は2,635人増加しました。

●医療機関への輸血用血液製剤供給単位数



医療機関にお届けした血液製剤は、444,008単位です。昨年度と比較すると、赤血球製剤は205単位減少、血漿製剤は2,218単位増加、血小板製剤は10,854単位減少しました。

※200mL献血=1単位、400mL献血=2単位、成分献血は4単位で換算します。

定期的に献血にご協力いただくと嬉しいです！

